

2月10日

2016年
(平成28年)

水曜日
第18526号(日刊)
土、日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

鉄鋼新聞

産業吊り足場「クイックデッキ」 三重県でも採用

橋梁工
事案件

軽仮設機材メーカーからリース業務を本格展開。これまでに全国で80を越す採用実績がある。

日綜産業(社長・小野大氏)は、先行床施工式フロア型システム吊り足場「クイックデッキ」を、三重県内で初めて、橋梁工事案件で採用になった。足場の組みやすさや広い作業スペースが確保でき現場の安全と工期短縮につながることが評価された。

最大5段の跳ね出し構造や高強度チェーンによる吊元を大幅に削減。チェーン数を少なくすることで、大きな作業空間の確保を可能にした。

同製品は、作業床の先行設置やユニットのシステム化などにより、安全で簡易施工、現場の工期短縮にもつながる製品として昨年

鉄道高架向けの採用実績を手始めに、工場やショッピングセンターなどで採用実績を重ね、今年5月の国土交通省の新技術情報システム(NETIS)登録後は公共工事関連での採用増につながっている。



三重県内の橋梁工事で採用されたシステム吊り足場「クイックデッキ」

今回、三重県員弁郡の「念仏大橋」の補修および新設案件(施工者・日本ピーエス、足場施工者・ピレネーエクスパート)で、採

た。
現場の責任者である杉山哲也日本ピーエス課長は「安全性と作業性に優れた足場であり、作業者数の軽減にもつながる」とした。

建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03)3259-8711
FAX(03)3259-8730
©日刊建設通信新聞社 2016

施工性・安全性の高さ実感



日綜産業は9日、三重県東員町で施工中の「主要地方道桑名大安線道路改良(念仏大橋上部拡幅工)工事」に採用されたシステム吊り足場「クイックデッキ」を公開したII写真。三重県の発注工事では初めて納入した現場で、約1300平方尺の足場を設置している。施工を担当する日本ピーエス名

三重県発注工事で初採用

日綜産業の吊り足場「クイックデッキ」

古屋支店技術施工部技術施工課の杉山哲也課長は「組み立てが簡易。桁から吊る個所が少ないので広い作業空間を確保できる」と施工性の良さを強調。組み立てを担当したピレネーエクスパートの高橋智行氏は「作業床を先行して施工するので安心」と安全性の高さを実感している。

クイックデッキは2014年6月の発売以来、大型商業施設や工場の天井工事など、全国で80件以上の現場に納入し、稼働している。15年5月に国土交通省の新技术情報提供システム(NETIS)に登録が完了し、橋梁の点検・補修に市場を広げている。

2月12日

2016年
(平成28年)

金曜日

第18527号(日刊)

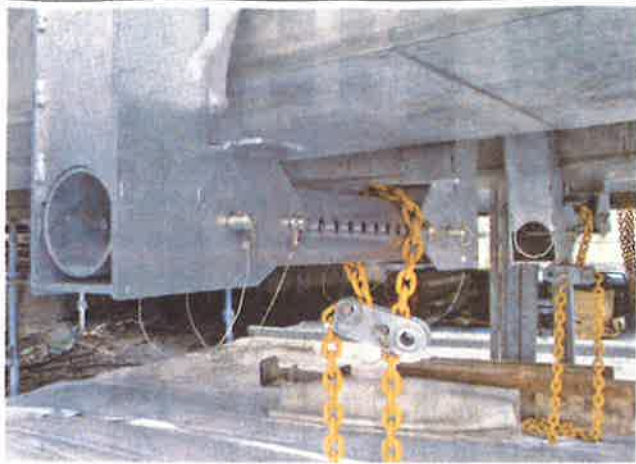
土、日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

鉄鋼新聞

日綜産業 吊り足場「クイックデッキ」 橋梁向けに補助部材開発

軽仮設機材メーカー「大氏」は、先行床施工り足場「クイックデッキ」の橋梁案件が増加していることなどに対応し、橋梁下部工の損傷を極力回避しながら吊り足場を構築する大型の補助クランプを開発し、三重県内の橋梁工事案件の現場仮設で初採用した。



新開発の吊り足場用補助部材

同製品は、作業床の先行設置やユニットのシステム化などにより、安全で簡易施工、現場の工期短縮にもつながる製品として、昨年からの製品化しリリース業務も本格的に展開

これまでに全国で80を
超す採用実績がある。
特徴は、最大5層の
跳ね出し構造や高強度
チェーンによる吊元の
大幅な削減。チェーン
数を少なくすることで
大きな作業空間の確保
を可能にし、現場作業
者が動きやすく安全・
迅速に業務を行える。
鉄道高架向けの採用
実績を手始めに、工場
やショッピングセンタ
ーなどで短期間に採用
実績が拡大。今年5月
の国土交通省の新技術
情報システム(NET
IS)登録後は、公共
工事関連でも採用増に
つながっている。
ユーザーや足場施工
業者からのニーズもあ
り、固定プレートや簡
易組立用足場、デッキ
サポートなどの補助部
材を用意しているが、
今回、場所や条件によ
って下部工本体にアン
カーボルトを打ち込み
にくい状況が出てくる
ことに対応。下部工一
部の両端を挟みこみ、
メッキした鋼管を通し
てそこに吊りチェーン
を固定するクランプ補
助部材を開発し、現場
で適用した。案件は、
三重県員弁郡の「念仏
大橋」の補修および新
設案件(施工者・日本
ピーエス、足場施工者
・ピレネーエクスパー
ト)。足場の組みやす
さや広い作業スペース
が確保でき現場の安全
と工期短縮につながる
ことが評価された。

日経建設工業新聞

発行所 ©日刊建設工業新聞社 2016 〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10 電話03(3433)7151 URL: <http://www.decn.co.jp/>

日綜産業が開発した先行床施工式フロア型システムつり足場「クイックデッキ」が三重県発注の橋梁改修工事に採用され、威力を発揮している。9日に現場見学会が開かれ、発注者や施工者が高く評価した。三重県内での採用は初めて。施工は日本ピーエスと協力業者のヒレナーエキスパート。



念仏大橋改修工事に採用されたクイックデッキ

日綜産業・クイックデッキ

三重県内工事で初採用

念仏大橋改修 効率施工へ威力発揮

消を図る工事で、既設橋の補修・補強と新規拡幅(PC橋新設)を行って行っている。工期は15年7月1日～16年7月4日。新規拡幅部分には新たに開発したPC橋梁用ビームクランプも採用され、ゆとりのある作業空間を実現している。

同工事に採用されたクイックデッキは、トラス構造で高い強度と軽量化を実現したジョイント(主梁)と連結ノード、小梁、孫梁、デッキパネルとこれらをつるす専用の高強度チェーンなどで構成。高い部材剛性と水平旋回式の組み立て方法で、つり点からの跳ね出し最大5分の先行床施工で作業床を安全につくることができる。

念仏大橋の改修では約1300平方分のつり足場を施工した。また、念仏大橋の改修では約1300平方分のつり足場を施工した。また、念仏大橋の改修では約1300平方分のつり足場を施工した。また、念仏大橋の改修では約1300平方分のつり足場を施工した。



PC橋梁用ビームクランプ

や工場の天井工事、新幹線高架の改修工事など幅広く作用され、納入実績は80件以上となっている。

建通新聞

中部

発行所 建通新聞社

中部支社 名古屋市西区浄心1-8-17
 〒451-0061 電話(052)523-2611
 名古屋支局 ☎(052)523-2611
 三河支局 ☎(0564)21-2461
 岐阜支局 ☎(058)263-1166
 三重支局 ☎(059)227-7521
 北勢通信部 ☎(059)354-3550
<http://www.kentsu.co.jp/>

©建通新聞社 2016

発行紙
 東京／神奈川／静岡／大阪／岡山
 香川／徳島／愛媛／高知

クイックデッキ 現場説明会開く

日綜産業

日綜産業(東京都中央区)は9日、三重県桑名建設事務所発注の「主要地方道桑名大安線道路改良(念仏大橋)上部拡幅工V工事」で、先行床施工式フロア型システムつり足場「クイックデッキ」の現場説明会を行った。写真。



同製品は、トラス構造で高い強度と軽量化を実現するジョイスト(主梁)と専用の高強度チェーンを組み合わせたもので、

最大積載荷重350キロ／平方メートル、最大つりチェーンピッチ5メートル×5メートルを実現した。先行床施工式により不安全作業を軽減できるほか、段差がなく、チェーンの少ない快適な作業空間で効率的な作業が可能となる。

県の担当者は「三重県では初めての導入となる。工期短縮、安全性の面で従来工法よりも優れていると評価した」と話した。

現場ルポ

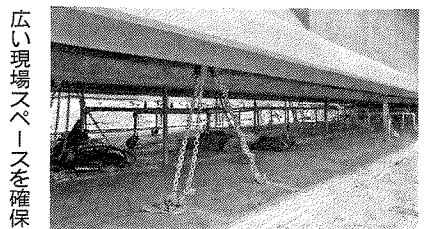
日綜産業の
「クイックデッキ」

「現場作業の安全を最優先することで、工期短縮とトータル施工費削減につなげる」一軽仮設機材メーカーの日綜産業(社長・小野大氏)は、同社が力を入れている先行床施工式フロア型システム吊り足場「クイックデッキ」が三重県内で初めて、橋梁工事案件で採用された。足場の組みやすさ、広い作業スペースの確保を通じ、現場の安全と工期短縮につながる事が評価された。同社では、現場の安全向上につながる仮設機材の普及拡大により、建設現場での災害撲滅に結び付けたいと考えた。現場からルポする。

橋梁工事案件、三重県で初採用

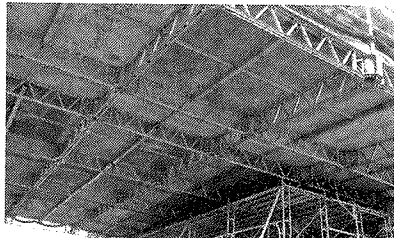
「安全な現場」実現に尽力

「安全性と作業性に優れた足場であり、作業者数の軽減にもつながるとトータルで考え、クイックデッキの採用を決めた」と語るのは、現場責任者である杉山哲也(日本ビーエス課長)。



念仏大橋は、員弁郡東員町中上地内の員弁川にかかる全長105.07m、有効幅員2.41mのPC橋梁。橋梁周辺道路が複雑で交通渋滞も発生しやすいことから、

「安全性と作業性に優れた足場であり、作業者数の軽減にもつながるとトータルで考え、クイックデッキの採用を決めた」と語るのは、現場責任者である杉山哲也(日本ビーエス課長)。



ら、拡幅工事と既設橋の補強・補修工事を同時に行っている。現場は、冬期は特に吹きさらしの風が作業者を襲う。昨年7月から工事を始め、現場に入った2月10日、山方向から吹き、作業者に

ら、拡幅工事と既設橋の補強・補修工事を同時に行っている。現場は、冬期は特に吹きさらしの風が作業者を襲う。昨年7月から工事を始め、現場に入った2月10日、山方向から吹き、作業者に

クイックデッキを設置した状態

広い現場スペースを確保

元を大幅に削減。チェーン

クイックデッキを設置した状態

橋梁新聞

発行所
橋梁新聞社

郵便振替口座 00150-2-48179
東京都台東区入谷1-6-6
〒110-0013 電話03(3876)1451
FAX03(3876)1458

第1271号

2016年 2月21日

(平成28年) 日曜日

昭和51年5月19日第三種郵便物認可

購読料/年間88,000円・半年46,000円(税別)

発行日 1・11・21日

発行兼編集人 澤田繁男
編集長 根津寿子

www.kyoryoshimbun.co.jp

「安心して職人送れる」

クイックデッキ公開 念仏大橋改修工事

日綜産業(東京都中央 郡の念仏大橋改修工事で
区)は9日、三重県員弁 活用中のシステム吊足場



(上)クイックデッキが採用された念仏大橋、
(右から)沼田専務、永井支店長、杉山所長、高橋職長

「クイックデッキ」を公
開した。

同橋は主要地方道桑名
大安線に位置し、二級河
川員弁川を跨ぐPC橋。
発注者の三重県桑名建設
事務所は今工事でクラン
ク状となっている道路形
状を直線にし、交通渋滞
解消を図るため同橋の拡
幅(PC3径間ボステン
工桁、延長105・07
m)と既設部(全幅8
m)と補修・補強を同時並
行している。

日綜産業は平成26年8
月にクイックデッキ(N
ETIS登録TH-15
0007-A)を国内に

導入した。現在、当初計
画を大きく上回り、納入
・稼働中の現場が80件を
超えている。今工事で三
重県内でも初採用され
た。

システムの特徴は基本
構成部材すべてがステ
ム化され、専用工具が不
要。人力での組み立てが
可能で、アサガオ(防護
壁)もシステム化された
ことで落下事故を防げ
る。

元請・日本ビーエス名
古屋支店(名古屋市中村
区)の杉山哲也所長は
「吊元が従来足場の4分
の1と極端に少なく、足
場内の作業性が格段に向
上した」とし、「手戻り
が少なく第三者被害も防
げる」と話した。
足場を架設したビレネ

「エキスパート(三重県
津市)職長の高橋智行氏
は「先行床施工式で仮設
時に墜落災害などの怖さ
がない」とし、「材料費
は高いかも知れないが、
それを上回る組み立て易
さ、組んだ後の荷重対応
など利点が多い」とし、
同社の沼田直専務は「安
心して職人を現場に送り
出せる画期的システム
だ。今後も積極的に活用
していく」と評価してい
る。

日綜産業名古屋支店長
の永井謙取は「計画
・引き合い案件が100
件を超えた。人手不足や
不安全作業を解消できる
本システムを今後も普及
させていきたい」と抱負
を述べた。